



団地管理組合法人加古川グリーンシティ
 管理組合広報委員会
 グリーンシティ自治会
 管理事務所 ☎425-6852
 ホームページ <http://www.greencity.gr.jp/>
 メールアドレス kanrikumiai@greencity.gr.jp

管理組合からのお知らせ

【タバコのポイ捨て・・・ダメ!】

最近、敷地内にタバコの吸い殻が落ちている報告を耳にします。タバコは吸い終わってきちっと始末するまでが喫煙者の責任です。ポイ捨ては敷地内では禁止されています。ポイ捨てをする前に、気づいてください! 火災になり他人を傷つけてしまってからでは取り返しがつきません。一部の無責任な喫煙者のために、迷惑を被る喫煙者がおられます。敷地内の共用部も「自宅の庭」と考えられないのですか?



【防災2号井戸について!】

いこいの場としてもご利用いただいておりますが、本来の井戸の役目である“水の確保”が果たせていないことが判明しました。埋設されている水中ポンプの汲み上げ能力が激減している状況となり、この度、点検修理を行っております。“水”の大切さを十分ご理解いただいている皆さんには、ご迷惑をおかけしますが、今しばらくお待ちください。ついては、防災1号井戸でのご利用をお願いします。

【防災訓練開催!】

防災訓練を、3月28日(土)に開催する予定です。昨年も多くの参加者で同じ時間・同じ空間を共有でき、無事に終わることができました。今回も多くの皆さんの参加をお待ちしております。詳細については、後日案内させていただきます。



防災2号井戸

修繕委員会からのお知らせ

【雨水排水管及び会所の清掃完了】

雨水排水管及び会所(44箇所)の清掃を1月29日・30日に無事終了しました。これで大雨にも対応できる備えが整いました。居住者の皆様のご協力、ありがとうございました。

【消火栓配管更新事業について】

各棟には消火配管が通っており、それをつなぐ配管が地中に埋設されています。長期修繕計画では、築30年にあたる今期に更新時期(予算7,590万)を迎えていましたが、3年毎の配管耐圧試験(法定)に昨年12月合格しましたので、この事業は今期は実施しないこととします。今後も状況を見ながら適切な対応をしていきます。

【敷地内外灯のLED化事業】

第30期の修繕事業である敷地内外灯のLED化工事を行います。当マンション共用部の電気料金削減が目的であり、既存の設備を利用して水銀灯をLEDに変更します。大型作業車の使用は無く、騒音も発生しませんが、高所作業になりますので近寄らないで下さい。居住者の皆様のご理解・ご協力をお願いします。工事期間は2月9日(月)・10日(火)を予定しています。



会所清掃前



会所清掃後

環境整備委員会からのお知らせ

【玄関扉・サッシ更新 アンケート調査結果報告】

昨年末に実施した玄関扉・サッシに関するアンケート調査の結果、多数の居住者(402戸)より回答をいただきました。この件に対する関心の高さが伺えます。現在、回答内容を整理しています。報告いただいた破損などの不具合箇所を調査し、現状を把握して、今後の対応を検討します。ご理解、ご協力をお願いします。

見つけよう防災の種

災害後の共通した話として「怒り」を訴える人達があります。「避難勧告や避難指示が出なかった」「何の情報も流れてこないで動けなかった」「もっと早く避難勧告・避難指示を出してくれ」「避難勧告・避難指示が遅い！行政の責任は重い」などと口にする人が多いのに驚かされます。この発言をそのままとれば、「行政からの情報も無く災害に襲われた」これは異常事態であり市民が怒るのも当然のことだと思えます。でも見方を変えればどうでしょう。その人達は他人から「逃げろ」といわれなければ逃げないのでしょうか？実際の話！ある市民が「家の前の川が氾濫しそう



だ。でも行政から何も言ってこないし大丈夫かな？」しかし、川の水は溢れだし、住宅は浸水、自家用車も浸かった。

その時にはもう避難すらできなくなっていた。そこで市民は「川が氾濫するなら早めに避難勧告を出してくれ」「浸水が進んでいるのに避難勧告が出ないから避難できなかった」「もう少し早くいってくれば自家用車だけでも免れたのに」更に「避難勧告がなかった。行政は何をしているんだ！」と市の職員に詰め寄り怒りをぶちまけたのです。

さて、この話の中で不思議なことに気が付きます。その市民は他人が「逃げろ」といわれなければ逃げないということです。自宅の前の川が普段とは全く違う状態になり、自分でも氾濫しそうだなと思ったにもかかわらず逃げない状況です。ここには過剰なまでの行政依存があります。これは昭和34年「伊勢湾台風」を契機に昭和36年に制定された日本の法律『災害対策基本法』によって生み出された市民の誤った防災感覚「防災は行政が行うもの！」「私たちは税金を払っている」という恐ろしい意識です。「私の命は行政が守ってくれる。何か起これば連絡が入り助けてくれるはず」というスーパー過保護防災といえる状態の「依存体質」に日本人はなってしまったのです。これは完全に間違った他者への過剰な依存心です。自分や自分の大切な人の命を行政とはいえ、どこの誰か知らない人に大切な命を丸投げし、依存するという意識が現在の日本に定着してしまっただけです。

ところが行政側もそれらの誤った意識に反発するきっかけとなったのが、あの阪神・淡路大震災です。

それ以降の大きな災害が発生する度に「行政には限界がある。自分の命は自分で守ろう」「地域の安全安心は自助・共助が大切だ」「自分たちのまちは自分たちで守ろう」と発信し始めました。しかし、これも誤った発信で、ここぞとばかりに行政側は、公助から逃げることを



発信し始めたのです。そのひとつには「ハザードマップづくり」です。「危険な場所はお知らせするので、あとは市民の方で判断してください」とスタートしたので。市民としては、あれだけの大きな災害が連発して発生し、多くのメディアが「公助は当てにできないから自助・共助だ」を発信すると、それが正しいかのように多くの市民は思うようになりました。でも本当に自助・共助は正しいのでしょうか？

間違いなく自助・共助は誤りではありません。しかし自助と共助をしっかりと理解しなければ何の役にも立たないということです。「自分の命は自分で守る」のは当然のことであり、もしも災害が発生し目の前で救助を求める人がいれば助けるのも当たり前のこと。でも当たり前前のことを他人からいわれなければできないのが現状です。ここで逆を考えてみましょう。本当に他人からいわれられますか？過去の災害時を振り返ってみましょう。避難勧告や避難指示が発令されました。市民は逃げましたか？ある町では、危険が迫っているのでバスまで出してお迎えに行ったという事例もあります。本当に市民はバスに乗ったのでしょうか？



結果は、避難勧告や避難指示が発令されても、多くの市民は避難もせず、バスには一部の市民しか乗らなかったのです。危険が迫っていることが判っていても、行政側は市民を無理やり連れてはいけません。市民をお願いするので「避難してください」と。不思議な光景です。公助というもの手が差し伸べても受け入れない。あれだけ自助・共助だといわれているにもかかわらず「命が助かるタイミング」で助かろうとしない。でも反対に、避難した市民もいるし、バスにも乗った市民もいる。皆様もお気づきでしょう！「助かりたい」という意識がなければ助からないし、いくら頑張っても助けられないのです。これは先月号でもお話しした「正常性バイアス」で、多少の異常事態が発生しても、正常の範囲内としてとらえ心を平静に保とうとする働きが、災害時には大きな邪魔をします。それを防ぐためには「冷静で高度な理性」が必要になります。簡単に言えば「私は助かる」という意識が必要ということです。自助とは「助かるという強い意志」のことです。そして、自分だけ助かったとしても強い悲しみが残ります。やはり家族、友達、近所の人も助かることが重要で「共に助け合う意志の共有」これこそが共助となります。これらは日常生活の中で育む必要があります。その一歩が「あいさつ」。家族や近所の人たちと言葉を交わすことで「共に生きる力」が生み出されます。明日の朝、ご近所の人に「おはようございます」。この一歩があなたに「助かる」という強い意志「勇気」を与えてくれます！

自治会からのお知らせ

「ふれあいバスツアー」

今年は「乳業体験」をテーマに取り入れて「ふれあいバスツアー」を以下のとおり実施します。

グリーン・ツーリズム助成金(25,000円)を利用し、大型バスをチャーターして今回は「あわじ花さじき」を見学「淡路島牧場」で昼食・バター作り! 「たこせんべいの里」「淡路ハイウェイオアシス」で淡路の美味しいものを買って帰ります。

開催日:平成27年3月14日(土)

参加資格:グリーンシティ居住者

(小学生以下は保護者同伴)

募集人数:35名(先着順)

参加費用:1,500円/人(昼食・飲み物付)

申込み先:管理事務所(☎425-6852)

「ふれあいバスツアー」タイムスケジュール

9:00	グリーンシティ出発
10:00~10:40	あわじ花さじき
11:40~13:40	淡路島牧場(食事・バター作り)
14:10~14:40	たこせんべいの里(見学・買物)
15:00~15:40	淡路ハイウェイオアシス(買物)
16:30	グリーンシティ到着



あわじ花さじき



淡路ハイウェイオアシス



淡路島牧場



たこせんべいの里

こんなこと知ってましたか?

もし、幼児期の子どもに、早くから無理やり字を教え、絵本を「一人で読みなさい!」と強要したり、辛い目に遭わせたとしたら・・・? それよりも、その子の好きな絵本を、繰り返し繰り返し親(大人)が子どもに読んでやることの方が、どれだけ大切か!!です。お母さんやお父さんが絵本を読んでくれること、そのことが幼児にとって、本当にうれしいことなのです。その上、その絵本が自分のお気に入りの絵本であれば、こんな楽しいことはないでしょう!?この“楽しさ”は、必ず子どもの心に深〜く残ります。大人は忘れてしまっても、この喜びは、子どもの成長とともに育ち、それが、本への興味にもなっていくわけです。



絵本は、“幼児に読ませる本ではなく、大人が読んであげる本”です。そして、絵本は“子どもに苦痛を与えるものではなく、喜びと楽しみを味わわせるもの”なんです。それゆえ、絵本は、役に立ったり、ためになったりするものだとは考えないようにしましょう。まして教科書がわりにするなんて、とんでもない考えのようです。お母さん、お父さん(大人)が一冊の本を手にするとき、“この一冊の絵本が、わが子にどれくらい多くの喜びと楽しみを与えることができるか!!”をまず考えてみる。それが、子どもが読書力のある、本好きの子どもに育つ確かな道だそうです。

幼児期に、より多くの喜びと楽しみ、幸せ感を、親から与えられた子どもは、成長したとき、自らの幸せをしっかりと築き上げ、そして、人とそれを分かち合える人間に育つのだと考えられています。そのためにも、お母さんが幸せであり、お父さんが幸せであり、大人達が、まず幸せであって欲しい!!と心から祈る気持ちです。

小学校PTAからのお知らせ

1月17日の廃品回収にご協力いただきありがとうございました。現在、新年度の通学班を編成中です。転居が確実な方は役員までご連絡ください。

12月13日(土)にジョイプラザで「お楽しみ会」を開催しました。とても楽しい時間を過ごす事ができました。参加してくれた皆さんありがとうございました。



少年団からのお知らせ

<廃品回収のお知らせ>

日時:2月21日(土)

雨天2月22日(日)

※当日の朝8時までに出して下さい。

場所:各棟ゴミステーション

<平成26年度PTA・少年団地区総会のお知らせ>


日時:2月20日(金)午後7時30分から

場所:集会所ホール



ご意見、ご要望などをどしどしお書きください。(ご記名をお願いします)

3月								2月																			
8日	7土	6金	5木	4水	3火	2月	1日	28土	27金	26木	25水	24火	23月	22日	21土	20金	19木	18水	17火	16月	15日	14土	13金	12木	11水	10火	9月
			燃えるゴミ収集日	かん収集日		燃えるゴミ収集日					燃えるゴミ収集日	ペットボトル紙衣類収集日		燃えるゴミ収集日			燃えるゴミ収集日	びん収集日		燃えるゴミ収集日				燃えるゴミ収集日	燃えないゴミ収集日		燃えるゴミ収集日
	専門部長会						なかよしひろば	広報委員会	修繕委員会	自治会役員会					理事会								環境整備委員会		建国記念の日		



前日からのごみ出しは、放火等犯罪を誘発する危険があるため禁止しています！

今月は28日(土)、1日(日)に卓球ができます。

こんな意見がありました

◇夜遅く帰宅した際、あのグリーンのイルミネーションの「ひかり」が目に入った瞬間、何故か「ホッ」とした気持ちになりとても癒されます…

B棟居住者

◇以前に出ていた“花壇で駐車禁止場のポイントを作る”という意見ですがなかなか良いアイデアだと思います。ただ、ブランターは、移動可能なコマ付きにした方がいいですね。

C棟居住者

◇今月号のグリーンだよりの絵柄が素敵ですね。

D棟居住者

“なかよしひろば” 開催


寒い日は、声を出して語り合い、笑い合いましょう！ おいしいお茶と、お菓子でお待ちしております！

日時 2月28日(土)
9時30分～12時

場所 集会所ホール

中学校PTAからのお知らせ

2月1日(日)の廃品回収ではご協力いただきありがとうございました。今年度の廃品回収を無事に終えることができ、皆様に厚くお礼申し上げます。



今月のニューフェイス ○○○ ○○さん ○○○ ○○さん ○○○ ○○さん

今月のクイズ

先月号の正解

①明 ②姿 ③認 ④始 ⑤究 ⑥受

正解者22名の内 厳正な抽選の結果 5名の方に図書カードを進呈します。

by 南雲風助(なくもふうすけ)

下記のそれぞれの文章には、読みは同じでも間違った使い方をされている漢字一文字があります。(例)のように解答欄に正しい文字を教えてください。

(例)立派な行いに関心する → (答)感

①学生の実体を調査する ④写真を修正する
②出席者に資料を配布する ⑤工場内は火器厳禁だ
③野性動物を観察する ⑥彼の仮設には説得力がある

応募用紙

2月の答え

①	④
②	⑤
③	⑥

どしどしご応募ください！ 応募締め切り日：2月28日

提出場所：管理事務所

カガナ 氏名

棟 号